

モジュール型温度調節計 <PUM>の機能アップについて

2012年8月
富士電機株

この度、モジュール型温度調節計(形式:PUMA,PUMB)とPUM用パソコンローダの機能アップを図り、更に使い易さを追求した商品にしました。



— 記 —

1. 機能アップの主な内容

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1) ランプソーク機能を追加しました。 | 5) 外部配線不要でカスケード制御を可能にしました。 |
| 2) 電動バルブ制御を可能にしました。 | 6) 高速制御(100ms)への対応を可能にしました。 |
| 3) 入力機能を拡張しました。 | 7) ヒータ(CT)入力機能を拡張しました。 |
| 4) 出力機能を拡張しました。 | 8) パソコンローダに新機能を追加しました。 |

2. 互換性について

- 1) モジュール型温度調節計(PUMA/B)本体は、上位互換です。
既存の機能については従来通りご使用になれます。
- 2) パソコンローダは、本体との組合せによる制限がありますので、ご使用時にはご注意願います。
詳細は下記「新旧ローダの互換性の注意事項」を参照ください。

【新旧パソコンローダの互換性の注意事項】

■ パソコンローダとPUM本体の組合せによる使用制限

パソコンローダは使用方法により下記の3つのパターンがあります。
それぞれのパターンについて注意点を下記いたします。

①モジュールから読出して使用する場合／PC-PUM本体(1対1)

	従来 PUM本体	機能アップ PUM本体
従来ローダ(バージョン:1.3.6)	○	○注1)
機能アップローダ(バージョン:2.0.0)	×注2)	○

注1)機能アップPUM本体に対しても従来のローダが使用できます。
ただし、従来のローダではPUM本体の新機能を使用することが出来ません。
注2)通信エラーが発生しますので、使用しないでください。

②モジュールから読出して使用する場合／PC-PUM本体(1対N)

	従来品PUMのみ	機能アップ版 PUMのみ	従来品・ 機能アップ版 PUM混在
従来ローダ(バージョン:1.3.6)	○	○注1)	○注1)
機能アップローダ(バージョン:2.0.0)	×注2)	○	×注2)

PUM本体を連結して使用される場合、連結している中に異なる版数のPUM本体が混在していると、機能アップローダを使用することが出来ません。
注1)従来のローダで機能アップ版PUMの新機能は使用出来ません。
注2)通信エラーが発生しますので、使用しないでください。

③保存していた定義ファイルを使用する場合

	PUMローダ 1.3.6用 定義ファイル	PUMローダ 2.0.0用 定義ファイル
従来ローダ(バージョン:1.3.6)	○	○
機能アップローダ(バージョン:2.0.0)	×注1)	○

注1)従来のローダで保存した定義ファイルは、機能アップローダでも使用することが出来ます。
従来のローダで保存された定義ファイルを機能アップローダで使用すると、追加されたパラメータ部の値が正しい値になりません。
PUMの新機能を使用する場合は、正しい値を設定してください。

④その他、使用上の注意事項

今回、ローダに追加した「新規立上」機能については、従来のPUM本体ではご使用できません。

以上